

新しい神話が始まる。  
**古賀春江の  
全貌**  
**KOGA Harue:  
A Retrospective**



《海》1929年 油彩、カンヴァス 東京国立近代美術館

**2010年9月18日(土)～11月23日(火・祝)**

\*会期中展示替えがあります。

前期 9月18日(土)～10月17日(日)

後期 10月19日(火)～11月23日(火・祝)

**神奈川県立近代美術館 葉山**

休館日：月曜日〔ただし9月20日、10月11日は開館〕、  
祝日の翌日〔9月21日(火)、9月24日(金)、  
10月12日(火)、11月4日(木)〕

開館時間：午前9時30分～午後5時〔入館は午後4時30分まで〕

観覧料：一般 1100円(1000円)、

20歳未満と学生 950円(850円)、

65歳以上 550円、高校生 100円

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：神奈川県立近代美術館 東京新聞

出品協力：東京国立近代美術館

**ファミリー・コミュニケーションの日：**

毎月第1日曜日(今回は10月3日と11月7日)は、18歳未満または  
高校生以下のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)  
でご観覧いただけます。

今回の「古賀春江の全貌」展は、神奈川県立近代美術館では1953年の「小出楢重、古賀春江展」以来となる57年ぶりの古賀春江の回顧展です。代表作《海》(東京国立近代美術館蔵)をはじめ、生前の古賀と親交のあった川端康成が旧蔵していた作品《煙火》など、油彩約60点、水彩約60点、スケッチなどの資料約60点で彼の生涯と芸術を紹介します。



《そこに在る》1933年 水彩、紙 財団法人川端康成記念会 ※前期のみ

古賀春江(1895-1933)は、本名は亀雄(よしお)といい、福岡県久留米市の寺院の長男として生まれました。17歳で画家を志して上京し、キュビズムやシュルレアリスムなど、同時代のヨーロッパ美術に学び、二科会を主舞台として大正から昭和の初めにかけて活躍しました。モダニズムが隆盛した時代、38歳という若さでこの世を去った画家は、そう長くはない画業のなかで、「カメレオンの変貌」といわれるほど、画風をさまざまに展開させました。そこには、つねに新しいものを追いかけて、変化を求めつつも一貫して変わらない独自の世界観がありました。また、古賀は文学にも傾倒し、絵画作品の解題詩をはじめとしてさまざまな詩を残しています。絵画と詩が古賀のなかで、どのような関係にあったのか。今回の展覧会では彼の詩にも注目し、画家であり、詩人であった古賀春江の生涯と芸術を紹介します。

水彩、スケッチなどは、半期ずつの展示となります。(前期/9月18日～10月17日、後期/10月19日～11月23日)



《竹林 (竹藪)》1920年 水彩、紙 福岡県立美術館 ※後期のみ



《海水浴》1922年 油彩、カンヴァス 和歌山県立近代美術館



《蝸牛のいる田舎》1928年 油彩、カンヴァス 郡山市立美術館



《深海の情景》1933年 油彩、カンヴァス 大原美術館 ※前期のみ



《素朴な月夜》1929年 油彩、カンヴァス 石橋財団石橋美術館

## 展覧会関連プログラム

### 講演会

#### 第1回 「古賀春江の絵画と詩」

講師：森山秀子（石橋美術館学芸課長）  
日時：9月19日（日）午後1：30～3：30

#### 第2回 「古賀春江の超現実主義絵画」

講師：速水 豊（兵庫県立美術館学芸員、特別展・国際交流担当課長）  
日時：11月6日（土）午後1：30～3：30

定員：各回先着70名（要申込）、無料

申込方法：受講希望の回、住所、氏名、電話番号、FAX番号をお書きの上、FAXにてお申込みください。

申込先：神奈川県立近代美術館 葉山 FAX 046-875-2968

申込締切：第1回は9月12日（日）、第2回は10月30日（土）まで。  
ただし定員に達し次第、申込みを締切します。

### 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：10月2日（土）、10月9日（土）  
各回午後2：00～2：30

申込不要、無料（ただし「古賀春江の全貌」展の観覧券が必要です）